

事業所名		なかよしサークル 総16人		公表日 令和8年2月18日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	16		基準の2倍近くの広さの活動室を有しています。活動室を最大限活用できるように不用品は倉庫に片付けるなどしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	2	配置基準プラス2名以上の配置を当施設の配置基準としています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	3	段差解消・怪我防止のフロアマットや、玄関入口にはスロープを設置しています。他にも適時必要個所にはバリアフリー化していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	16		毎日の掃除、消毒を行い清潔の維持をしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	1	必要に応じて部屋を区切り、個別に過ごせる場所を提供しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	15	1	毎日の申し送り時に前日を振り返り、当日に生かしている。週に1回は60分以上の全体MTGを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	2	保護者様等のご意見については全職員にMTG等で周知できるようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	3	職員との面談は必要な時に適時行い、改善が必要な業務内容については速やかに改善を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	12	現在第三者による評価は行っていないが、市内の他事業所等と情報交換や相談をしながら適正に事業運営出来るように心がけている。必要な場合は市役所の担当者への相談を行っている。今後事業運営に必要な場合は有償で行う第三者評価を行うことも検討しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	1	社内で必須研修を行い、オンライン研修や外部研修にも参加を促している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	1	弊社HPIにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	16		個別支援計画書をもとに、個別に月間目標を設定し毎月スタッフMTGにてモニタリングとアセスメントを行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	1	上記と同様、支援に関わるスタッフ全員での検討を常に行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	16		支援計画書を共有し、計画書をもとに支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	2	フォーマルなアセスメントについては、保護者からの情報提供にて収集し、日々の活動記録からインフォーマルなアセスメントを行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	3	設定し、支援計画を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16		定期的なMTGで検討をして全員で立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16		季節行事や気候に合わせた活動を心掛けている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	16		日々、個別活動がメインになるが、休日や長期休暇には集団活動を組み合わせ支援をしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	16		放課後支援時には、支援前に約30分間の打ち合わせを行い、当日の支援内容について目標に対しての支援豊富や役割を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	2	終了時には行えないが、翌日の申し送り時に振り返りを行っている。毎日のヒヤリハット気付きをノートに記入し共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16		施設全体の記録、個別の記録を毎日作成しています。	
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	1	スタッフ全員にて毎月の目標設定時にモニタリングを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	15	1	基本活動を組み合わせ支援を行っています。今後も改善をしていき、より良い支援を行えるようにしていく。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	15	1	些細な事でも選択が出来るように工夫しています。言語だけでなく、カードや指差しなど、合わせた工夫をしています。	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	2	対象の利用者様の状況に精通した児童発達支援管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	6	必要な利用者様については必要機関と連携して支援を行う体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	16		学校によっては保護者任せなところもあるが、保護者との連絡がしっかりと出来ている。HPでの予定確認を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	12	4	必要な利用者様については就学前の情報共有の為に連絡をしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	16		必要に応じて情報提供しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	11	頻回にはないが、過去受けたことがあります。今後も機会があれば設けていきます。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	14	課題点が多く、また保護者様からのニーズもないため実施していません。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	13	3	子ども部会主催の連絡会や研修などには参加している。くらし部会には別事業の職員が参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15	1	送迎や活動記録で日々情報交換を行い、共通理解をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	7	情報提供を依頼された研修などについてはパンフレットなどを配布しています。弊社企画の研修などは行っていません。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	1	利用契約時に必ず行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16		面談時以外にも、送迎や日々のやり取りの中で意向の確認、意思尊重をしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	16		更新の際には説明を行って同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16		常に相談受付の体制をとっています。必要に応じては相談員や学校などの関係機関とも連携して助言支援をしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	12	保護者会の設置はしていませんが、保護者・ご家族向けにデイ開放日を設定したり、交流のイベントを企画しています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	1	苦情に対しての今後の対応を迅速に検討し、情報周知の許可を得てから、全ての保護者様へ周知するようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	4	ホームページやSNS等で発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16		十分に注意をしているが、流出などが無いように更に注意していく。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16		ツールや時間、環境など様々な面で可能な限りの配慮を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	13	課題点が多く、招待や解放などは安全確保の為にやっていません。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	16		閲覧ファイルにていつでも確認が出来る様に整備しています。マニュアルの更新がある都度、周知を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16		策定し、訓練や研修を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	1	利用前のアセスメントにて確認し、対応方法についてご家族と打ち合わせをしています。利用途中で状況が変化した場合には、その時に確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15	1	アレルギーについては保護者からの指示のもと対応しています。他にも疾患に合わせて対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	1	作成し、訓練や研修を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15	1	連絡帳などを活用し周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16		毎日のヒヤリハット気づきの記入を、全体MTGにて再発・事故防止のために検討・改善しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16		リーフレットの掲示の他にも、社外・社内研修での虐待防止に努めている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	15	1	現在身体拘束を必要とする利用者はいないが、今後必要な場合には、職員間で検討し保護者への説明と計画書への記載を行う。会社の虐待等防止委員会にて身体拘束についても検討している。	